

イベント 特別講演会 「“京都の御大礼”がもつ意義を考える」 講師：所功

皇位の継承に伴う即位礼と大嘗祭は、天皇が東京へ移られても、大正と昭和の両度、京都で実施されました。その理由と当時の具体的な状況、それが今の京都にも持っている重大な意義を解き明かします。

9.19 水 午後2時～午後3時30分

●会費：無料 ●会場：みやこめっせB1F ●定員：100名(当日先着順)
 ※事前のお申込みの必要はございません。当日会場にお越しください。
 ※お席の都合上、立ち見になる場合、またはご入場頂けない可能性もございます。悪しからずご了承くださいませ。

記念特別事業 よみがえる味 大正大礼のおもてなし料理 — The Imperial Feasts of Japan —

大正4年(1915)、大正大礼(大正天皇の即位礼と大嘗祭)における饗宴(大饗という)が、二条城で盛大に行われました。その献立をもとに饗宴料理の一部を再現、京の料理人の手によりおいしく現代によみがえらせ、ご賞味頂きます。二条城台所にてトークショーの後、下記各会場へ移動いただき、解説付きでお食事をお召し上がりいただきます。また二条城台所では飛鳥時代から宮中で新嘗祭や大嘗祭の際に舞われた雅な五節舞も披露いたします。

お食事プラン

トークショー

9.17 月・祝 有職料理 西陣 魚新
 (お弁当会場：ANAクラウンプラザホテル京都)
 「御大礼おもてなし弁当」ランチプラン
 6,000円 先着120名限定
 ※このプランにお料理解説はございません。



所功 (本展実行委員長)
 天皇の歴史と文化、皇室の法制と現状に詳しい研究者。長らく京都産業大学に勤め、昨年から京都宮廷文化研究所の代表を務める。

9.16 日 美濃吉本店竹茂楼会場
 「和食」ディナープラン 30,000円
 先着80名限定



谷部 金次郎 氏
 昭和天皇に長らく仕えた料理人。皇室の食に対する考え方に「身土不二」や「一物全体」を挙げる。現在、全国での講演活動、テレビ出演などで活躍中。

9.17 月・祝 ANAクラウンプラザホテル京都会場
 「和洋」ディナープラン 30,000円
 先着120名限定



久能 靖氏
 元日本テレビアナウンサー。日本テレビ「皇室日記」のキャスターを長年務めた後、現在は皇室ジャーナリストとして活動。皇室関係の著書も多数。

お申込み先 株式会社 JTB 京都中央支店 TEL 075-284-0148
 京都の御大礼 特別記念事業申込デスク FAX 075-284-0153

関連展示 「京都の御大礼」ゆかりの上賀茂神社所蔵名品展・下鴨神社所蔵名品展

平安京の守護神と仰がれ、山城国一宮・官幣大社であった賀茂大社には、宮廷文化を伝える名品や御大礼ゆかりの資料が残っています。それらをこの機会に両社で展示します。

9.1 土 — 10.8 月・祝 ●各入館料：600円 ●開館時間：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
 ●休館日：無し

賀茂別雷神社(上賀茂神社) 高倉殿
 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山339 TEL 075-781-0011

賀茂御祖神社(下鴨神社) 神社資料館
 〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 TEL 075-781-0010

会場情報

- ◆ 細見美術館 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
- ◆ 京都市美術館 別館 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 岡崎公園内
- ◆ 京都市勧業館 みやこめっせ 〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1(二条通東大路東入)



Gotairei in Kyoto: The Elegant Court Culture of Enthronements (Sokui rei) and Grand Harvest Festivals (Daijōsai)

GOTAIREI

「東山天皇御即位式・皇元上皇御即位行列図屏風」(部分) 個人蔵(皇學館大学佐川記念神道博物館寄託)



明治150年・平成30年記念

京都の御大礼

—即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび—

展覧会場 1

細見美術館

2018. 9.1 土 — 10.8 月・祝

●入館料：一般1,000円(900円)/学生800円(700円)
 ※()内は20名以上の団体料金/小・中学生無料
 ●開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで) ●休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
 ※途中、一部展示替えをいたします。

展覧会場 2

京都市美術館 別館

9.1 土 — 9.15 土

●入場料：無料 ●開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●休館日：毎週月曜日

みやこめっせ

地下特別展示場

9.19 水 — 9.27 木

●入場料：無料 ●開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●お休み：無し

※会期後、展示品の一部を「みやこめっせ」に移動します。 ※「京都市美術館 別館」からの展示移動を含みます。

主催：「京都の御大礼—即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび—」展実行委員会/共催：京都市 細見美術館 日本経済新聞社 京都新聞 京都宮廷文化研究所 賀茂別雷神社(上賀茂神社) 賀茂御祖神社(下鴨神社)/特別協力：皇學館大学/制作協力：株式会社ワントゥーテン/協力：文化庁地域文化創生本部/後援：京都府 京都商工会議所 京都府教育委員会 京都市教育委員会 (公社)京都府観光連盟 (公社)京都市観光協会 神社本庁 NHK京都放送局

お問合せ 実行委員会事務局 (株式会社 茫内) TEL 075-351-1137

公式ホームページ <https://kyoto-gotairei.com>



細見美術館 皇學館大学 NHK京都放送局



「御即位大礼繪巻」(部分) 小原家文庫(皇學館大学佐川記念神道博物館)

明治150年・平成30年記念

京都の御大礼

—即位礼・大嘗祭と宮廷文化のみやび—

「御大礼」は皇位継承に伴う祭祀として平安時代以来、京都で磨き上げられた宮廷文化の精粹です。本展では、江戸時代以降の「御大礼」（即位礼と大嘗祭）を伝える貴重な史料、絵図、絵巻、屏風等々を展示。さらに大礼関係の建築や儀礼を再現した復元模型・装束などを陳列し、その全貌に迫るとともに、舞台となった京都の町や人々との深いかかわりを探ります。

1

即位式図・行幸図屏風の競演

東山天皇の即位式(1687年)をはじめ、後陽成天皇の聚楽第行幸(1588年)、後水尾天皇の二条城行幸(1626年)と、近世初期の天皇行事を描く絢爛な屏風を一堂に展示。即位式図では壮麗な儀式や行列が金雲とともに描かれ、天皇の権威を伝えます。

行幸図では、沿道を埋め尽くす見物人の姿も表情豊かに表わされています。天皇の鳳輦を心待ちにする庶民は着飾り、酒宴も開いて物見遊山の気分。天皇と庶民の意外な親近性が垣間見られます。



「御所参内・聚楽第行幸図屏風」(右隻) 個人蔵(上越市立歴史博物館寄託)



「二条城行幸図屏風」(左隻) 泉屋博古館

4

奉祝さまざま — 記念出版やグッズ —

大正4年(1915)・昭和3年(1928)の御大礼では、一連の行事を記念する写真集や絵葉書、石版画などが数多く発行されました。それらの資料からは、御大礼の各場面はもとより、京都で開かれた記念の博覧会や奉祝の飾りが街々を彩った様子が知られます。東京の皇居から御大礼のために京都に入洛された天皇を、人々は大歓迎しました。大嘗会の饗宴(大饗)や同時に開催された宴会には多くの名士が招かれ、御大礼を奉祝しました。大饗で参加者に下賜された銀製のボンポニエール(金平糖入れ)なども展示します。

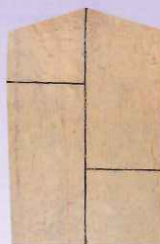


「釣籠形ボンポニエール」 西陣魚新

「Enthronement of The One Hundred Twenty-Fourth Emperor of Japan」 個人蔵

「御大礼記念」(絵葉書) 小原家文庫(皇學館大学佐川記念神道博物館寄託)

2



「亀甲」 鈴鹿家資料(皇學館大学寄託)



「東山天皇御即位式・豊元上皇御即位行列図屏風」 個人蔵(皇學館大学佐川記念神道博物館寄託)

即位式・大嘗祭の貴重な資料が集結

御代がわりに伴う御大礼(「即位式」(即位礼)と大嘗祭(だいじょうさい=即位の年の新嘗祭)は、宮廷の儀礼の中でも極めて重要かつ複雑でした。実施に携わった人々は、御大礼のための特別な建物や調度や装束、儀式的次第などを、今後に備えて子細に記録しました。ここでは御大礼にまつわる資料のほか、悠紀地方・主基地方(=大嘗祭神饌用の新穀を奉納する国郡)を決定するための卜定に使われる亀甲なども併せて展示します。



「大嘗会図」 小原家文庫(皇學館大学佐川記念神道博物館)

3

江戸時代の悠紀主基屏風、初お目見え!

大嘗祭の後行われる節絵の饗宴。その会場には、悠紀主基地方から捧げられた屏風が飾られました。これらの大嘗会屏風(悠紀主基屏風)は、和歌に基づきやまと絵で描かれるものと、中国の瑞祥に因む文章(本文)が唐絵で描かれるものと2種類ありました。

このたび、京都国立博物館に秘蔵されていた、江戸後期の大嘗会屏風を初めて公開します。近代の「悠紀・主基地方風俗歌屏風」とは全く異なる調度としての屏風をぜひご覧ください。



「明和度大嘗会和歌御屏風」(部分) 京都国立博物館



「天明度大嘗会本文御屏風」(部分) 京都国立博物館

5

宮廷文化のみやびを伝える

即位式や大嘗祭の様子は、一般人は間近に見ることが叶いませんでした。近代に入ると、その様子を再現した模型や人形が作られ、人々の関心に応じています。

現代では、京都宮廷文化研究所が大型の即位式模型や実物大の装束などを制作、受け継がれてきた宮廷文化のみやびな様相をリアルに伝えます。



「大正大礼即位式模型」 京都宮廷文化研究所